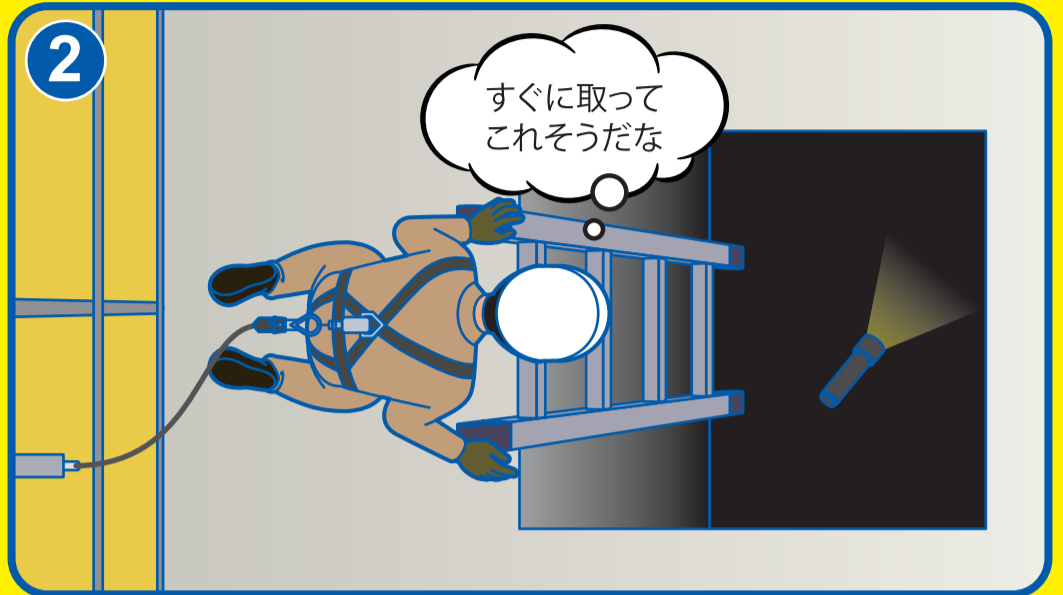
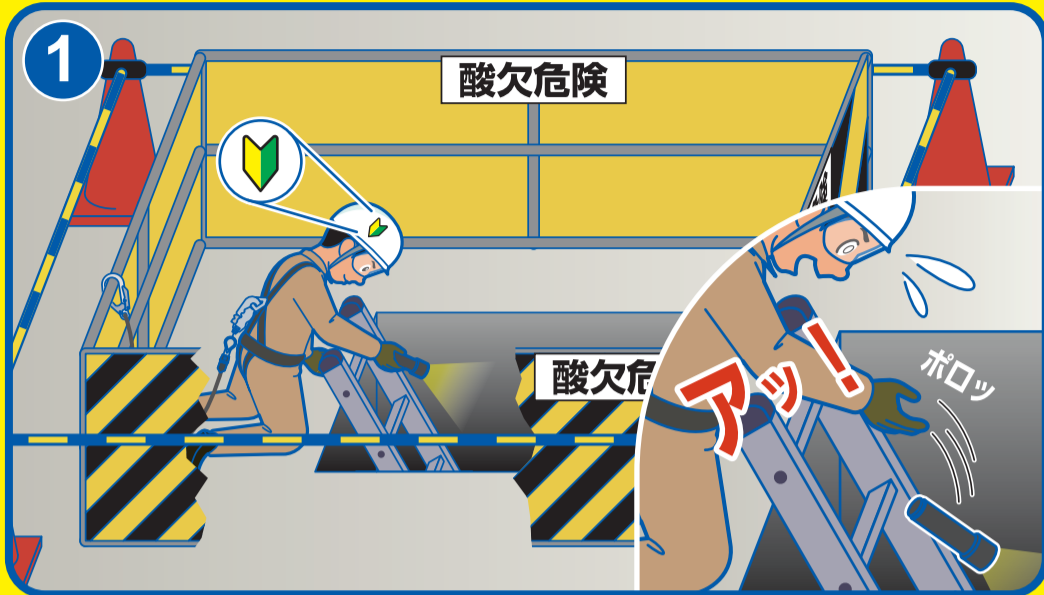


エラーを引起す状況 ②

初めて(不慣れ)



対策

対策1

酸素濃度が低い場合は不調を感じる間もなく意識を失うこともある過去には死亡事故も起きている

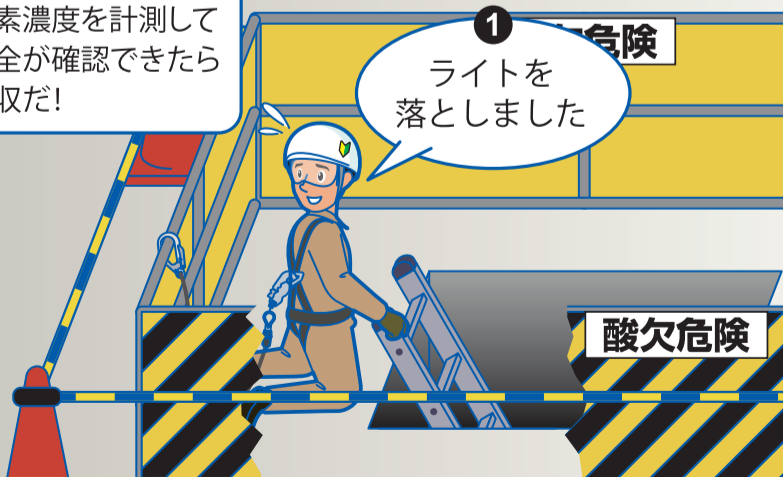
酸欠危険の表示がある場合は安全が確認されるまで立ち入らないこと



対策2

酸欠注意だぞ! 酸素濃度を計測して安全が確認できたら回収だ!

① ライトを落としました



解説

どのような状況で起きる?

初めて(不慣れ)な方法、機器、環境等で作業をするとき

どのような影響を受ける?

- ① 知識不足から誤った判断や評価をしてしまう
- ② 力量(能力)不足で要求事項を満足できない(失敗する)

どのように防ぐ?

- ① 教育訓練(何故そうするのかも理解(腹落ち)させる)
- ② 過去のトラブル情報等を活用した危険予知(KY)
- ③ 何でも言い合える雰囲気作り(不安・疑問の表明等)
- ④ ベテラン社員による監督・指導等

初めて(不慣れ)の作業では、必ずリスクが潜んでいるものと考えた細心の注意が必要なんじゃ。リスクのある作業の場合は、計画時点で危険な作業自体を排除したり、初心者仲間をフォローし合える環境整備など、予めリスクを想定した準備をしておくことが重要なんじゃ!



Dr.ジャン・シー

「エラーを引起す状況」は、人間がエラー起こしやすくなる職場に潜む好ましくない状況であり、それに気付いて排除することにより、エラー発生の未然防止につなげることができます。このポスターは、事例を参考に安全啓発資料として編集・作成しています。



世界最高水準の安全性の追求~たゆまぬExcellenceをめざして~  
一般社団法人 原子力安全推進協会  
Japan Nuclear Safety Institute

ヒューマンファクター検討会